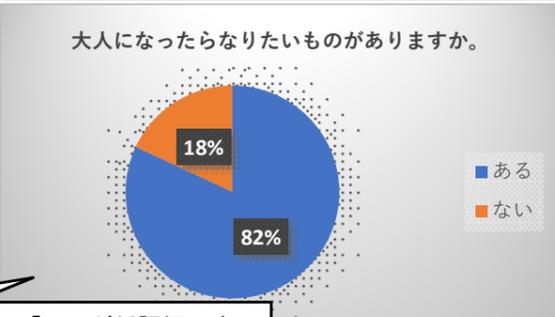
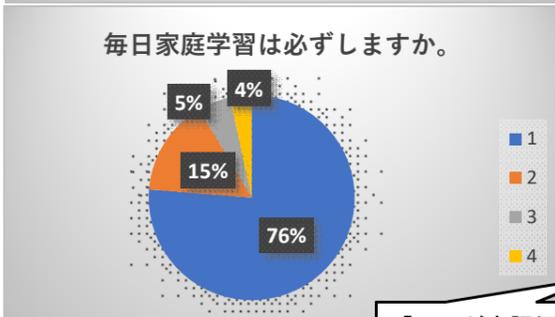
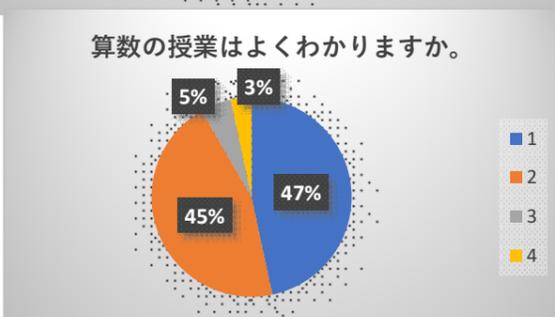
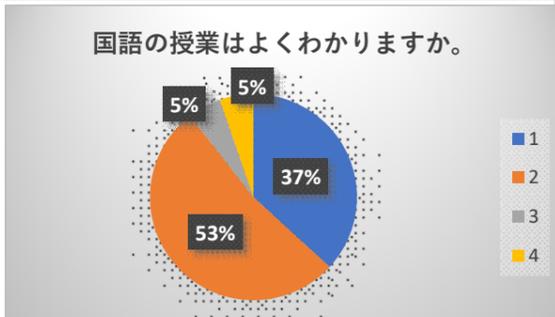
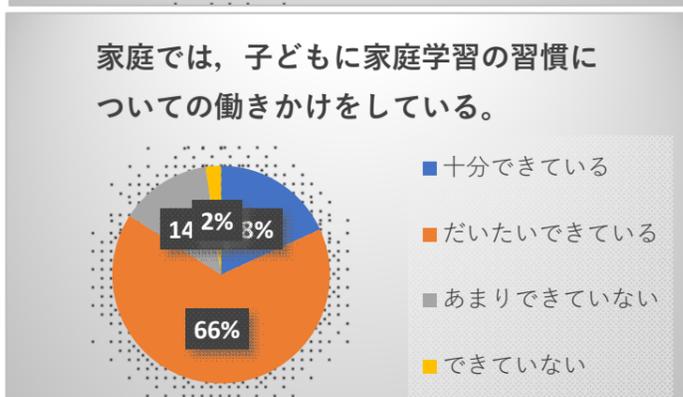
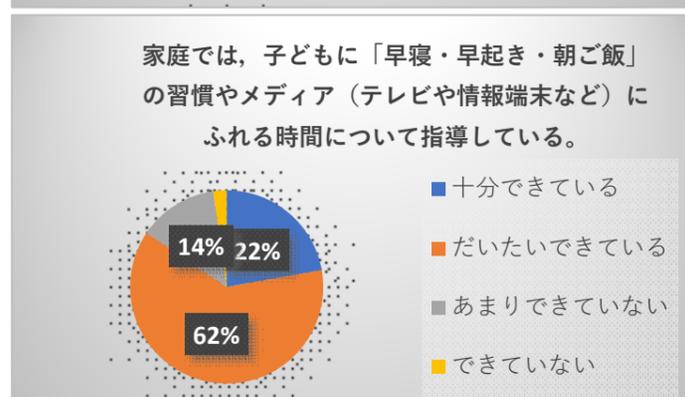
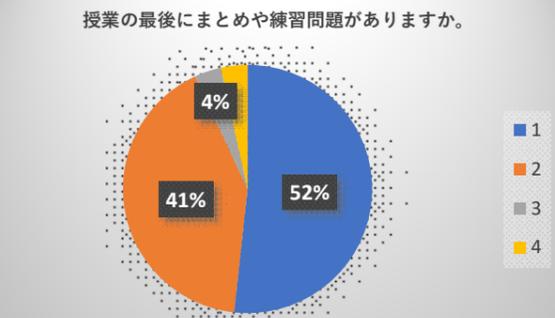
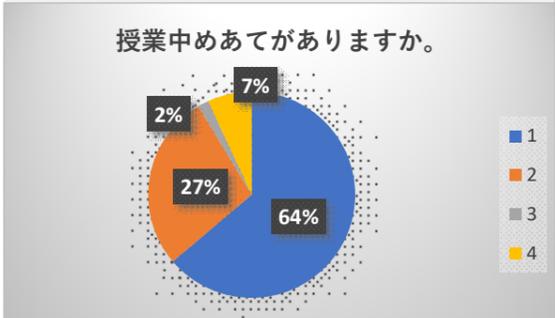
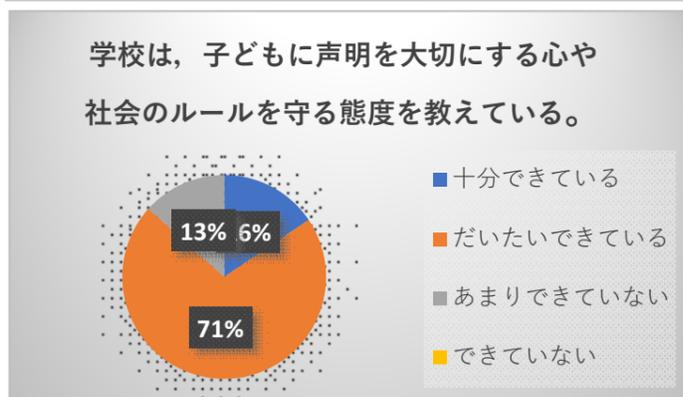
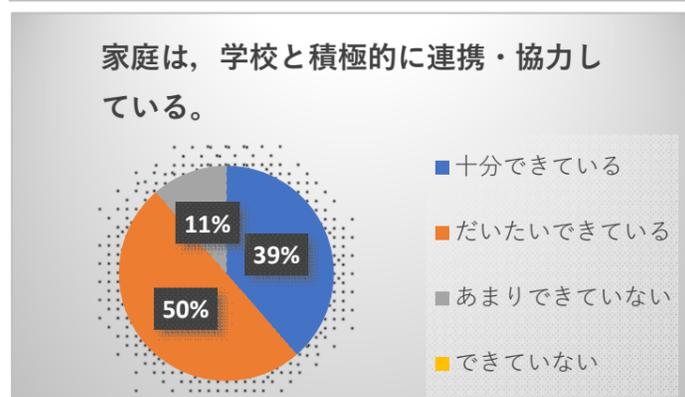
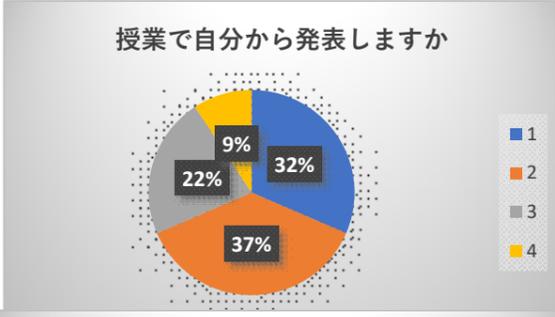
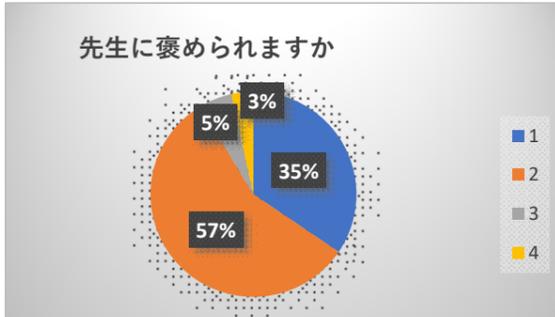
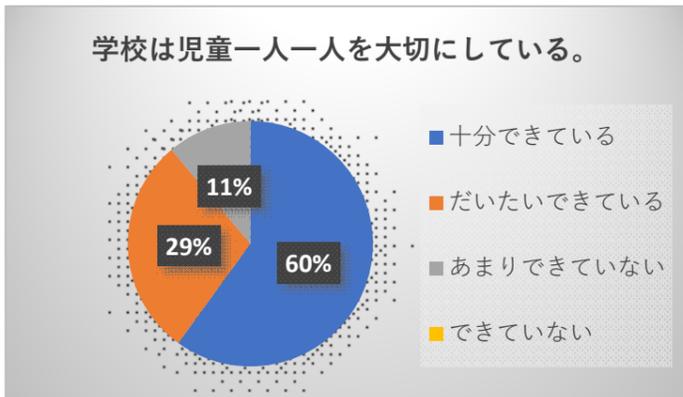
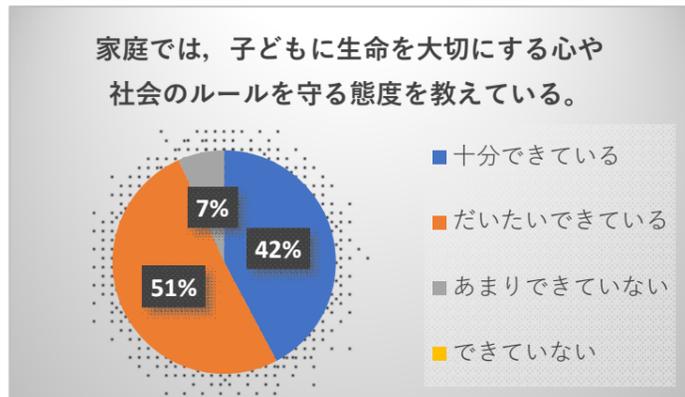
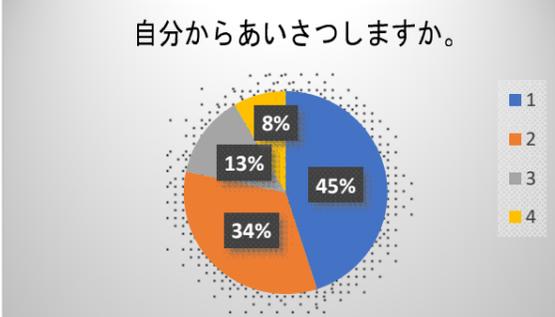
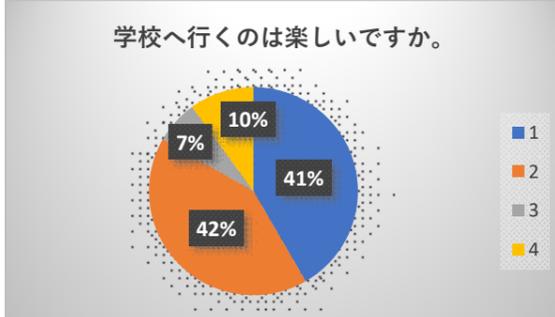
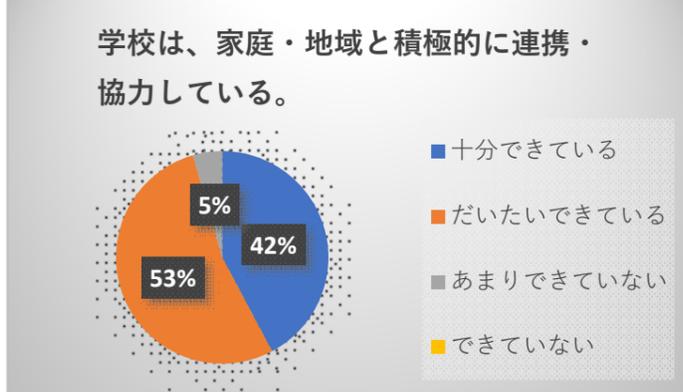
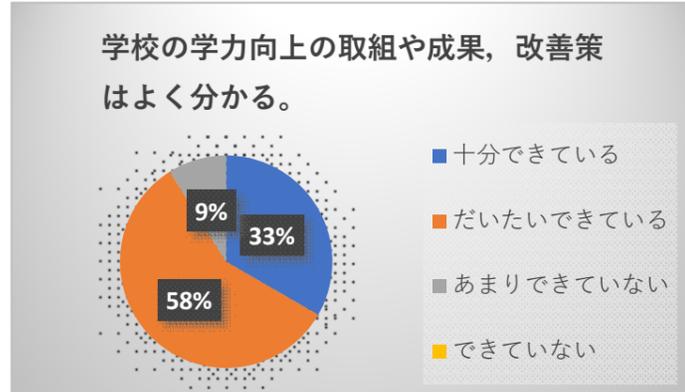


# 令和3年度 第2回保護者・児童アンケート結果

## 保護者アンケート結果 児童アンケート結果



「1」が高評価、「4」が低評価です。

<保護者評価>  
1学期と比べ、全体的にやや下がった項目が多かったですが、0.1～0.2P以内であり、おおむね肯定的な評価と言えます。  
6～8の項目は「ルール・規範」「メディア時間の管理」「家庭学習に向けての働きかけ」など、学校・保護者が働きかけて、児童自ら実行する『自律』に関することが課題です。雰囲気や状況に流されず、「すべき時にはする」「最後までやり通す」「ダメな時は、自分で止める」という心・力を家庭と学校が連携して育てていく必要があります。

<児童評価>  
第1回目と数値的にはほぼ変わりありませんでした。『学校へ行くのは楽しいですか』の質問肢で17%の児童が「やや楽しくない」「楽しくない」と回答しており、全ての児童が楽しく学べる・活動できる学校にしていきたいです。  
『自分から発表しますか』の評価は肯定的な評価が7割近くですが、挙手・発言だけでなく、グループワークや教え合いなどを通して自らの考えを伝え合う姿が見られるかは「発表」という形にとらわれず、「自分の考えを伝えることができるか」という質問に変更しふり返りをします。